

大阪府立香里丘高等学校 平成 28 年度第 2 回学校協議会 記録

日時 平成 28 年 11 月 22 日 (火) 14:15～授業見学 15:20～協議

場所 本校会議室

- 1 校長挨拶
- 2 委員長挨拶
- 3 協議 (司会: 委員長)

1) 学校経営計画進捗状況について

- ・アクティブコース選択者は目標の 80 名を下回っている。
- ・模試受験者は前年より 5% 増加。
- ・学習オリエンテーションは今年さらに工夫し、肯定的な回答が昨年度 95% から 99% に上がった。
- ・We b 予備校の活用については、20 名ほどの参加を予定していたが、実際は 45 名参加。
- ・昨年度満足度 90% 維持していたが、今年度体育祭は 86% であった。
- ・部活動加入率昨年度 85% 以上が今年度は 89% である。(1 年 1 学期時点)
- ・遅刻者 50% 減を目標としているが、現時点で 177 名。昨年度の 152 名を上回る。
- ・学校説明会の参加人数は昨年度とほぼ同じ。
- ・HP の更新頻度は月 3 回を目標としていたが、月 5 回更新できている。
- ・メール配信の登録者は 65% で、目標の 70% には到達していない。

【質疑応答】

委員: 遅刻の傾向は去年と今年で違うのか。常習者がいるのか。学年別の遅刻者数は出ているのか。

学校側: 年間 688 名は少ない。一人が顕著に増やしているという状況ではない。3 年生の遅刻が多い。

委: クラブ加入率が高いが、1 年生に対して積極的に指導しているのか。

学: クラブ体験の期間を設けている。入っていない生徒には、「入らないのか」という声かけはしている。

委: 2, 3 年で入部することはできるのか。

学: できるが、生徒としては入りづらいだろう。特に運動部は。

委: 1 年の加入率しかないが?

学: 全学年データはある。継続率は高い。

委: 模試受験率高いとあるがおよその数字は?

学: 昨年度 312 名が 461 名に増加 (三年生)

委: 英検が大学受験に活かせるなどの情報を生徒は意識しているか。

学: 意識しているかもしれないが、英検受験者が劇的に伸びるわけではない。

2) 本年度の新たな取り組み

① 新入生学習オリエンテーション

- ・昨年度、事後アンケートを実施。結果をもとに工夫して改善した。事後の追加指導も行い、より充実させた。

【質疑応答】

委：これだけ生徒の評価が高いのはいい。今後も継続してほしい。

②アクティブラーニング等に関する教員研修

・研修では、アクティブラーニングが目的ではなく手段であることがわかりやすく説明された。

【質疑応答】

委：（教師も生徒も）主体性を持ってやり、アクティブラーニングを取り入れながら徐々に変えていくのがよい。今日の授業を見学して、生徒が主体的に取り組んでいる様子はあまり見られなかった。

委：発言するのに不慣れな生徒が多い気がする。そのような子がお客さんになってしまわないような工夫なども考えていただきたい。

学：小グループやペアワークなども取り入れている。

③塾対象学校説明会

・塾の先生方に実際の学校現場を見ていただくことでミスマッチを避けられるというメリットがある。約30名が参加。

【質疑応答】

委：ほかの学校でもよく実施されていることなのか。

学：府下でも実施している高校は少ない。塾主催の説明会にブースを出しているが、その交流から生まれた。

委：どのくらいの数の塾に案内を送ったか。

学：枚方、寝屋川、交野、守口、門真の150校ほどの塾。大半が個人指導の塾。インターネットで住所を検索して送ったが、あて先不明で20通あまりが返ってきた。

委：私学は塾との結びつきが強い。塾の先生に学校を知ってもらうのは大事なことだ。続けていただきたい。

④まなびワンポイントコーナー

・生徒の知識欲を刺激するしかけとして行っている。

【質疑応答】

委：生徒は見ているか。

学：見て、話題にしている。

(⑤1年生大学見学会)

・1年生全員を対象とした大学見学会の次年度からの実施に向けて協議中。

3) アクティブ専門コースの充実について

・音楽コースの年間活動報告。第4回香里丘吹奏楽フェスタは年々参加中学校が増えている。今年は25校だった。目的意識を持って取り組んでいる者が多い。

- ・スポーツコースの開設科目の概要説明。

4) 授業力向上の取組みについて

①第1回授業アンケートを受け各教科の意見

- ・ICTを利用した授業が生徒の理解を促している。
- ・グループ学習、ペアワークが有効である。
- ・教え合いの効果がある。
- ・課題としては、与えた以上のことをやらない生徒をどうするか。達成感をもたせる授業の工夫。

【質疑応答】

委：目標が底上げなのか平均値を上げるのかで授業改善の仕方が変わってくる。

学：平易な内容にすると満足度は上がるが、難しい内容にするとわからない子がでてくる。基本的には「ここまで来い」というスタンスでやっていきたい。

②互見授業報告

③本日の授業見学をふまえてのご意見等

- ・まず教師は声が大きいほうが生徒がよく聞く。
- ・部屋がムーンとしていた。眠たくなる。
- ・板書とプロジェクターの差が出ていた。プロジェクターは間があかなくていい。
- ・居眠りをしている生徒が何人かいたが、おおむね授業に集中していた。
- ・先生が説明しているのに補助資料を開けていない生徒がいた。先生の声かけなどで工夫するとよいと思う。
- ・楽しかった。みんな授業をよく聞いていた。モチベーションが高い子が多い。

【質疑応答】

委：パワーポイントでの授業が増えていっているのか。

学：若い先生を中心に徐々に増えている。

委：それは先生任せなのか。

学：組織的ではない。

委：今後増えていけばよいと思う。

委：授業の最後に今回の内容の小テストを実施されていたのがおもしろかった。これも先生によるのか。

学：各先生で授業内容定着の工夫をされている。

5) 来年度使用予定教科書について

4 校長謝辞